

監事監査報告書

平成 29 年 5 月 23 日

社会福祉法人 宝安寺社会事業部
理事長 望月 郁文 様

小田原市浜町 1 丁目 4 番 38 号
社会福祉法人 宝安寺社会事業部

監事 刀口 藤 隆


監事 たかはし 美子


我々は、社会福祉法人宝安寺社会事業部の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度に関して、理事の業務の執行状況及び社会福祉法人宝安寺社会事業部の財産の状況について平成 29 年 5 月 23 日監査を実施したので、その結果を次のとおり報告します。

監査結果

1. 理事の業務の執行状況

当期の理事会の開催状況は 5 月 27 日の決算理事会、12 月 13 日の一次補正予算理事会、3 月 8 日の予算理事会のほかに 3 回開催、評議員会は 5 月 27 日、12 月 13 日、3 月 8 日の 3 回開催、いずれも有効に成立し必要な審議が実施されている。

2. 法人の財産管理並びに定款について

資産の管理状況は財産目録、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書、登記簿などに基づき確認した結果、財産、負債とも適正に管理されていることを認める。会計経理についても、経理規程に基づき適正に処理されており、証憑書類の管理保管も適正であることを認める。

3. 施設運営について

事業報告書に基づき確認した結果、全施設が法人本部方針との一貫性をもって各事業計画を推進していることを認める。積極的に地域交流を行い、地域との新たな連携強化を深めていること、地域ニーズを汲み取った新規事業展開に向けて意欲的に取り組んでいること、人材不足が今後も進む状況において、多種多様な人材が実力発揮できるような人事評価システムの充実等に進展があったことを認める。引き続き取り組んでいただきべき課題として、以下を挙げたい。現在福祉業界においては施設安全管理や防犯についての取り組みが重要になってきているが、利用者を守るためにには、同時に施設職員の人材育成や安全衛生管理の問題も大きなテーマとなる。職員の安全衛生管理や働きやすい職場環境づくりの視点から、職場環境を改善する、ストレスマネジメントなど取り組んでいただきたい。また福祉職員としての適性に即した指導・人材育成の仕組みづくりに取り組んでいただきたい。今年度も甚大な事故なく安定的に運営されたことはすばらしいので、今後もより働きやすい職場、より職員がやりがいを感じることができる環境づくりを進め、福祉サービスの質を高めていただきたいと思う。

以上。